

# 企画展 「グリーンランド ～地球のてっぺんの大きな島～」

GREENLAND: The Large Island at the Top of the World



北極点に近い世界最大の島は

今も、エスキモー文化の


息づく地である。

1998. 2. 3 (火) ~ 3. 22 (日)

開館時間 9:30~16:30

休館日 月曜日・2/17・3/21

企画展の観覧料 無料

 **北海道立北方民族博物館**  
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見313-1 (天都山)

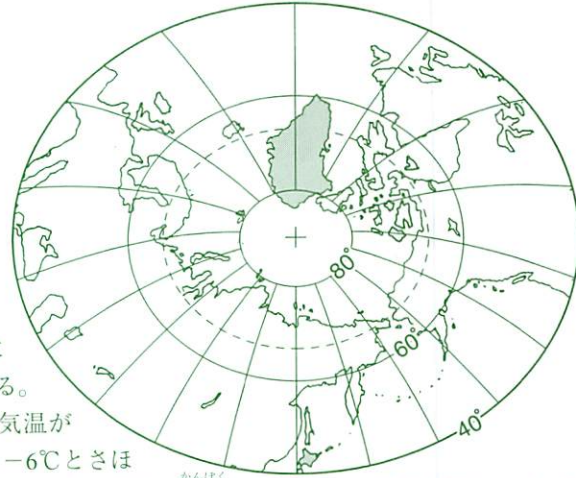
Tel. 0152-45-3888 Fax. 0152-45-3889

<http://www.ohotoku26.or.jp/organization/hoppohm/>

◇常設展示観覧料：一般250 [200] 円，大学生80 [50] 円。  
[ ] 内は10人以上の団体料金。小・中・高校生は無料です。免除規定がありますので，詳しくはお問い合わせ下さい。



島の大部分が北極圏にあるグリーンランドは、エスキモー文化の形成を考えるうえで重要な地です。デンマーク領の内政自治区となっている現在まで、さまざまな文化を受け継いできた人びとの暮らしについて紹介します。



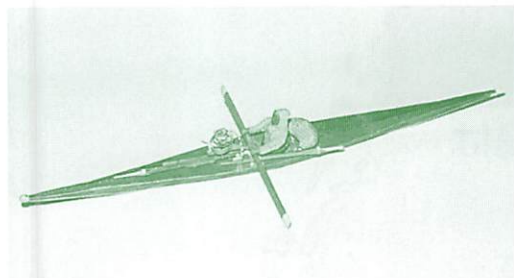
### 【位置と自然】

グリーンランドは北アメリカ大陸の北東、北緯59～83度に位置する島である。広さは日本の国土の約6倍だが、その80%以上は氷に覆われており、複雑に入り組んだフィヨルドの海岸線に点在する町に、約55,000人の人びとが暮らしている。気候は、南北に長い島だけに地域による変化が大きく、北部では年間平均気温が-10℃以下であるが、南部では冬でも海水は発達せず2月の平均気温が-5～-6℃とさほど寒くはない。植生はいわゆるツンドラで、北海道の高山や高層湿原に見られるような草花や灌木しか生えず、種類も限られている。陸に比べて海の生物は多様で、多くの魚類・鳥類・海獣類などが生息している。

### 【先史】

グリーンランドの最初の移住者は、約4,000年前から300年ほど続いたインデペンデンス文化を担っていた人びとである。この文化は島の北部からカナダの北東部にかけて広がっていたが、住居はテントだけで、海獣類の脂肪を燃やす石ランプは発見されていない。その後いくつかの文化期を経て、1000年頃に近現代のエスキモー文化の基礎となったチュール文化期が始まる。

チュール文化は、シベリアの東端と北西アラスカの周辺で発達して徐々に東へ進み、グリーンランドに到達したと考えられている。カヤックやウミアックといった皮船と犬そりの水陸の移動手段を備え、捕鯨などの高度な狩猟技術を伴った、寒冷な自然環境に最も適応した文化といえる。



カヤック模型

### 【歴史】

やや温暖だった900年代には、北欧からのバイキングの移住というもう一つの人と文化の流入があった。南部地域で酪農などを営んでいた彼らの末裔は、再び寒冷になった1400年代に姿を消すが、チュール文化の担い手だったイヌイトの祖先はこの地に適応した。

それから約300年後の1721年、デンマーク・ノルウェー同君連合から宣教師が来島、布教と交易の拠点が設けられ、後にグリーンランドはデンマークの領土とされた。



木桶

### 【現在】

デンマークからの移住者は一時的に増えたが、現在も人口の約80%はイヌイトのアイデンティティ（帰属意識）を持つ「グリーンランダー」であり、第二次世界大戦後の政治・経済の立て直しとともに、島内では自治権獲得への機運が高まった。1979年には、「デンマーク王国内において特別の民族社会を構成する」として内政自治が認められ、首都ヌークに内政自治政府が置かれた。グリーンランド内における文化・産業・福祉・環境などに関する権限が国家から委譲され、外交や安全保障などの対外政策と通貨政策に関する事項以外は、ほとんど独自の立法と行政が行えることになっている。

このほか、デンマーク本国からの博物館資料返還の動きや、現地の博物館の展示と活動についても紹介する。

\*民族名の呼び方について…民族名をどう呼び表すかについては、時代・地域ごとにその政治的・社会的状況によって変化するものです。ここでは、広くシベリアからグリーンランドまで共通の文化的伝統をもつ民族集団をさすときには、かつてのとおり「エスキモー」、グリーンランドの先住民を指すときは自称の「イヌイト」と表すことにします。



女性用衣装

### 期間中のもよおし

◆講座 14:00～15:30 会場:当館講堂

2月8日(日)「ミュージアム映写室(2)トーテムポールの森とニシンの海」

講師:渡部 裕(当館学芸課長)

2月22日(日)「ミュージアム映写室(3)ツンドラとタイガの世界」

講師:渡部 裕(当館学芸課長)

3月1日(日)「グリーンランドの人と自然」 講師:齋藤玲子(当館学芸員)

◆博物館クラブ(対象:小中学生) 10:00～11:30

2月14日(土)「とんぼ玉教室」 講師:笹倉いる美(当館学芸員)

◆講習会 14:00～15:30

2月15日(日)「とんぼ玉づくり」 講師:笹倉いる美(当館学芸員)

\*参加はすべて無料です。事前に電話でお申し込み下さい。

